

科目名	地域産業政策論	科目分類	■専門科目群 □総合科目群	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Regional industry theory	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年	
		開講期間	□前期 ■後期 □通年 □集中	
ふりがな	ふかさわ やすお	実務家教員 担当科目	修得単位	2単位
担当者名	深澤 太郎	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用	
授業のテーマ	副題 「秋田経済のマクロ分析と求められる産業政策」 日本国全体は先進国の中で相対的に衰退している中、ある地域だけが発展するためには特殊な政策が必要となる。全体的に労働力人口が実質的に減少に向かう状況で、地域産業政策は大きな意味をもつが、その困難度は高い。その狭い道筋について秋田県を実例として探るのが、本講座の目的である。			
到達目標	この授業の単位を修得した場合、次のような知識・能力を修得できます。 1. 生産年齢人口が大きく減少し、閉塞感漂う日本において、何が有効な地域産業政策かを秋田県を実例として理解できる。 2. 秋田県の経済状況についての理解度が大幅に上昇し、社会人として求められる水準に届く。			
授業概要	受講者数にも左右されるが、理想としては事前に参考資料に目を通してもらい、授業中には可能な限り各項目についての質問を行いたい。経済指標等のデータに基づき理論を確認し、その上で自ら考える姿勢を身につけてもらいたい。			
授業計画	(授業において配布された資料は、すべて試験の範囲に含まれる)			
第1回	イントロダクションと日本の立ち位置（労働力人口、労働生産性、経済成長の源泉の確認）（1）			
第2回	イントロダクションと日本の立ち位置（労働力人口、労働生産性、経済成長の源泉の確認）（2）			
第3回	劣化する日本の製造業			
第4回	秋田県の人口と「第4期ふるさと秋田元気創造プラン」「第1章 時代の潮流と本件の現状」、「秋田の目指す将来の姿」の検討			
第5回	秋田県の人口問題の分析			
第6回	秋田県の直近の経済指標の分析（1）			
第7回	秋田県の直近の経済指標の分析（2）			
第8回	中間レポート(持ち込み可)			
第9回	秋田県財政の分析			
第10回	「第4期ふるさと秋田元気創造プラン」「第4章 重点戦略 [戦略1 産業・雇用戦略]」の検討			
第11回	誘致企業の詳細と有効であった秋田県の企業誘致			
第12回	秋田県の直近の経済指標の分析のまとめ			
第13回	30年度秋田県民経済計算の分析（1）			
第14回	30年度秋田県民経済計算の分析（2）			
第15回	秋田県の2020～2021年度GDP予測			
第16回	定期試験（持ち込み不可）、期末レポート（持ち込み可）			
授業時間外の学習	事前に資料を配布するようにしますので、該当箇所は事前に通読して疑問点があれば質問すること（0.5～1時間）。 確認のための復習をすること（0.5～1時間）。			

履修条件 受講のルール	適宜資料を配布しますが、欠席した場合は必要であれば、後日研究室まで受取りに来て下さい。 受講者の理解度等を考慮して、シラバスを変更する場合があります。「マクロ経済学Ⅱ」、「地域産業論」を履修済みが望ましい。
パソコン使用 について	なお、受講者のパソコン保有台数等をヒアリングし、可能ならば、授業中にパソコンを使用して、経済データの分析、グラフ作成を行う場合があります。
テキスト	第4期ふるさと秋田げんき創造プラン 第1章 時代の潮流と本件の現状、第2章 秋田の目指す将来の姿、第4章 重点戦略 [戦略1 産業・雇用戦略] 以上は、誰でも秋田県のホームページから入手可能、その他配布するペーパー
参考文献・資料	日本経済と財政危機の本質シリーズ10「劣化する日本の製造業」深澤泰郎 「マクロ経済学」斎藤誠ほか3名 有斐閣
成績評価の方法	定期試験(10%)、中間レポート(40%)、期末レポート(40%)、その他(10%) 出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。
オフィス アワー	火曜日 13:00～14:30 14:40～16:10 金曜日 13:00～14:30 14:40～16:10
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び 実務を活かした 授業内容	
学生への メッセージ	先進国の中で、相対的に衰退する日本のとるべき方向が、見つかるかもしれません。特に秋田県に絞って分析しますので、就職等で役に立つと思います。希望をもって一緒に勉強しましょう。